

令和6年度パース補習授業校入学式における祝辞（令和6年4月27日）

小学校に入学される皆さん、ご入学おめでとうございます。

パース補習授業校は、毎週土曜日に日本語でお勉強をする学校です。今日から小学生ですので、いろんなお勉強を先生方に教えてもらえます。

平日の学校に加え、土曜日には新しいお友達と会えますね。本を読んだり、歌ったり、運動したり、今日からお勉強も遊びも元気よく楽しんで下さいね。

保護者の皆様、お子様のパース補習授業校へのご入学おめでとうございます。定住されている方も、海外勤務で数年間パースに滞在されている方もおられるかと思いますが、お子様は、本校で日本語も英語も堪能な日豪の架け橋、コミュニケーション能力の選れた国際人の素養を育まれていかれていることと思います。

人間力溢れる先生方のご指導のもとで、日本文化を体験する様々な機会を提供して頂き、日本人のコミュニティの様々な方々に温かく支えて頂いているのが、パース補習授業校の素晴らしいところだと思います。

私の長男も、現在アフリカ東部のウガンダという国で日本語補習校の先生をしています。平日はセーブザチルドレンの代表として、奥地で難民を含む子供たちの支援をしています。

長男を含め3人の子供たちも南アフリカとケニアの日本人学校に学びました。家内は日本人学校の元教員でした。私自身も日本人学校とアメリカンスクールに学び、アメリカンスクール時代には土曜日に日本人学校の国語の先生に作文添削指導を受けたこともありました。ひとことで帰国子女とは言えないほど、個々人により様々ですが、可能性も無限大だと思います。

ケニアではかつて政治的な混乱の中で、大使館と学校が無線で連携してスクールバスの運行経路を急遽迂回した場面もありました。日本人学校の小学生が「何て平和ってありがたいんだろう」と作文に書くほどでしたが、子供たちの成長をみると、この原体験も後になって活かされているのだと思います。

オーストラリアは状況は違いますが、この土地に特別な素晴らしい環境があります。人も気候も温かいパースで、自由にのびのびと成長し、文化の違いも乗り越えた逞しく、包容力豊かな人材に成長して頂きたいと願っております。そして海外で培った「家族力」の強さは、その後の就職を含め、子供たちの飛躍を後押し、課題に立ち向かう力になるものだと思います。

最後になりましたが、マッカーサー千里先生をはじめパース補習授業校の先生方、学校運営委員会、学校を支える関係者の皆様の日頃の大変なご尽力に対して心よ

り御礼を申し上げます。皆様のご理解・ご協力のおかげで、水素自動車に関する講演、東日本大震災への継続したご支援、御礼のために来訪された福島県の一行による手打ちそばの実演試食会、ラグビー体験と、楽しみながら友好の輪を広げる活動に生徒の皆さんもご参加頂きました。心より感謝申し上げます。

現在ホッケー女子日本代表チーム「サクラジャパン」がオリンピックにむけた強化遠征のために訪問中ですので、ご都合つく方は是非一緒に応援しましょう。

本日はご入学おめでとうございます。

令和6年 4月27日

在パース日本国総領事 内藤 康司